

別紙

三井化学株式会社 岩国大竹工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井化学株式会社 岩国大竹工場

(2) 事業所の所在地

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号

(3) 業種

1731 石油化学系基礎製品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年を基準とし、平成26(2014)年度から平成28(2016)年度までの3年間とする。

(本計画では、広島県分、山口県分の合算値を報告)

3 計画の基本的な方向

弊社は、「地球環境との調和の中で、材料・物質の革新と創造を通じて、高品質の製品とサービスを顧客に提供し、もって広く社会に貢献する。」という企業理念をもとに、三井化学グループは、「地球環境との調和」を図りながら、事業活動を展開しています。

地球温暖化対策として、三井化学グループは、1990年代から地球環境保全の観点に立ちCO₂排出削減に取り組んでいます。

三井化学グループ全体のCO₂の排出は、エネルギーに起因するのが97%占めています。このため、エネルギー原単位を年1%向上させることを目標に省エネルギーに取り組んでいます。また、CO₂排出量についても省エネルギー同様その削減に取り組んでいます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素		450,657	450,657

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素		8,862	8,862

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成25年度
メタン		326	326
一酸化二窒素		164	164
HFC PFC SF ₆		25	25

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)	削減目標		目標年度 (平成28年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	450,657	3.2	14,570	436,087
非エネルギー起源CO ₂	8,862	0.0	0	8,862
メタン	326	0.0	0	326
一酸化二窒素	164	0.0	0	164
フロン類	25	0.0	0	25
温室効果ガス 実排出量総計	460,034	3.2	14,570	445,464
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ ：各プラントのプロセス改善による削減			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量の削減3%	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気トラップの定期点検による無効蒸気の低減 ・蒸気配管保温管理の強化 ・ボイラーブロー量の削減 ・暖管ブロー量削減 ・蒸気使用量の削減
2	電気使用量の削減	事務所等の電気使用量0.1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度を適正管理 ・昼休憩時の消灯の徹底 ・高効率照明器具への更新
3	一酸化二窒素排出量の削減	産業廃棄物の焼却量20%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の再資源化
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合计量
1		
2		
3		

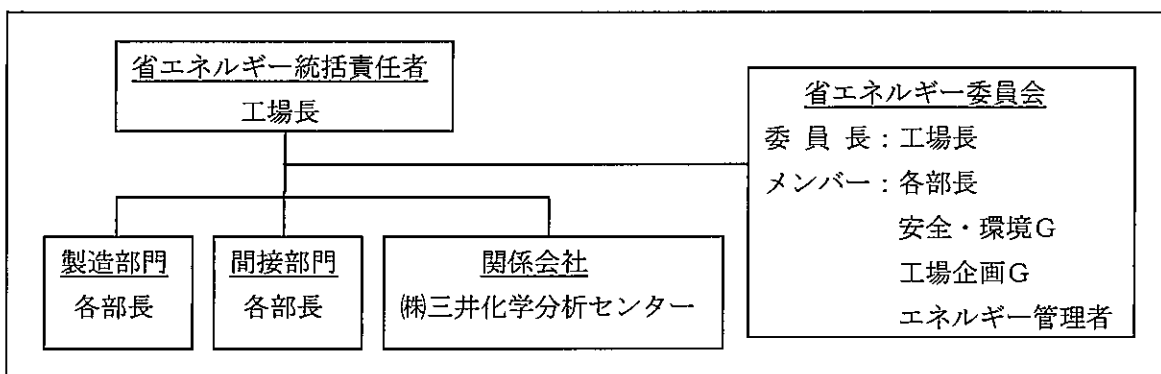
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・2アップ印刷、裏面利用等 ・分別収集の徹底 ・リサイクル品の全品回収
2	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃奉仕活動の実施（2回/年） ・災害支援物資（海洋汚染物質拡散防止資材）の常設
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

省エネルギー委員会において、温室効果ガス削減計画を策定、毎年度取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

回覧場所

三井化学株式会社 岩国工場 安全・環境部安全・環境グループ

工場位置図

